

○事業所名	横浜市北部地域療育センター（児童発達支援センター）			
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～	令和7年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	113	(回答者数)	89
○従業者評価実施期間	令和7年1月8日		～	令和7年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方にも一緒に療育に参加して頂く親子通園を実施する。	保護者の方も集団療育に参加して頂き、お子さんの集団の中での様子を見ながら、お子さんの特性と一緒に考える。また、療育の中で保護者の方が実際にお子さんに対応をしていく場面を設定していくことで、ご家庭でもお子さんと安定したコミュニケーションがとれるよう工夫する。さらに、保護者同士の仲間づくりや情報交換の場も担っていく。	親子通園の中で、保護者の方がお子さんに対しての知識を幅広く獲得していけるよう、保護者教室や座談会のレポーターを充実させ、保護者の方に選択して頂けるようなテーマを検討する。
2	クラス担任だけでなく、チーフ、フリー、園長、他職種も含め、お子さんやご家族の支援について検討する。	ご家族からのご相談やお子さんの療育の中での課題、ご家庭の中での過ごし方など、担任だけでなく、集団療育の運営や通園全体の運営に関して、チーフ、フリー、園長を含めた会議を実施し、多角的な視点からお子さん、ご家族の支援を検討する。	担任含む通園に関わる職員間で円滑なコミュニケーションを図り、様々な意見を聞き、取り入れることで、お子さんの支援のバリエーションを広げることを心がける。
3	アセスメントを基に、集団の中で個別支援を実施する。	上記のチームアプローチ実施する中で、それぞれの専門性からお子さんのアセスメントを行う。アセスメントを根拠に長期目標・短期目標を作成し、具体的支援を検討する。定期的な会議に加え、日々の療育を職員間で振り返り、療育に活かしていく。	療育のVTRをとらせて頂き、職員間で振り返りを行う。振り返る際も、担任以外の職員も積極的に同席する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多様化する家族背景に応じた 親子通園の頻度	親子で集団療育に参加して頂き、お子さんの様子を見ながらその場でお子さんの特性をお伝えしたり、対応を実際に見ていただけことは、親子通園の強みでもあるが、働いているご家庭や頻度多く通うことが出来ないご家庭に対しての療育提供の幅を広げることが課題である。	通園の頻度は、ニーズに合わせて毎年編成していくことが求められる。その中でも、親子の回数は保護者の方の体調や家族背景を考慮し、柔軟に対応できるよう努める。また、親子で来て頂いている目的を明確に示していけるよう工夫する。
2	療育参観・引継ぎ以外の地域との交流が少ない。	以前は保育園との交流会を行っていたが、コロナ禍より消滅してしまった。今後は、通常の療育から交流していくイレギュラーの流れを設定していくことを想定し、目的を明確にした上で保護者と確認していくことが必要である。	幼稚園・保育園・児童発達支援事業所と連携し、保護者の方のニーズやお子さんにとっての交流目的を明確にし、地域との具体的な連携の方法を検討していく。
3	保護者のニーズに沿った情報配信の仕方	保護者の方からアプリやSNSを通じた情報配信のご要望が寄せられている。しかし、間違えないように配信していく工夫や、直接お話し出来ない場合の保護者の方とのコミュニケーションの取り方を具体的に検討することが課題である。	紙ベースからSNS配信を主にしていくことで、アクシデントに繋がらないことを重視し、可能な範囲から検討していく。

事業所名 横浜市北部地域療育センター  
(児童発達支援センター)

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 112名

回収数 89名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	85	2	1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	85	2	1	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	85	2	1	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	87	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	87	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	87	2	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	86	2	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	87	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	83	6	0	0	・色んな体験ができています。 ・プログラムに工夫が見られる。 ・バリエーションがもう少し欲しい。	ご家庭では体験できないようなプログラムや、お子さんが自発的に自信を持って取り組める課題を、今後も工夫していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	70	0	10	9		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	87	1	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	89	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88	1	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	88	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	88	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	85	4	0	0		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85	4	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	85	2	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	70	6	10	3	・デジタル化してほしい。 ・説明が不十分	アクシデントなく、安全な療育が行えることを最優先とし、どの部分をデジタル化できるか検討していきます。また、保護者の方が混乱のないような説明の仕方を心がけていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	82	2	1	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	85	3	0	1	・現実的な避難訓練 ・備蓄の物を知りたい。	年度後半の時間・避難場所未設定をより現実的に行うことと、センターでの備蓄品をオープンにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	83	5	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	89	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	87	2	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	76	8	0	0	・楽しみにしている。 ・子どもがつまらないと言っていた。	お子さんが安心して通所できるよう、保護者の方と情報共有しながら、工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	84	3	2	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	横浜市北部地域療育センター (児童発達支援センター)		公表日		令和7年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	5		限られたスペースの中で、お子さんの療育スペースを確保していくために、整理整頓を心がけていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	2		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	0		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	0		
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	3		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	支援内容は関係職種が集まって、チームでカンファレンスを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	20	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0		療育参観や情報交換は行っていますが、お子さんの支援を検討し合う機会を増やせたらと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	学校引継ぎは近年療育を見学に来られたり、VTRを見ながら行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)	15	5		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	18	2		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	6		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15	5	地域の幼稚園・保育園に通園のお子さんのフォローで訪問する職員を調整しています。	フリースタッフがクラス担任も積極的に園に行けるようにしていきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	3			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	5	年度のはじめに、重要事項または利用者ハンドブックにて一斉にご説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	4	親の会の話し合いやイベントには、必要時園長が参加して、一緒に考えて行きます。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		SNS配信できるものを検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	20	0	個人情報の漏洩防止の為、物理的な構造やマニュアルを毎年更新しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	20	現状は地域住民との交流はなく、通園の作品を展示する機会に積極的に参加しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	5		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	20	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	20	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	5		不審者対策の訓練を強化していきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	5		災害時の緊急連絡手段として、災害伝言ダイヤルを検討します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20	0	毎月の職員会議でクラスごとにインシデント報告をし、状況・改善策を確認しあい、共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	2			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市北部地域療育センター ぴーす中川 (児童発達支援事業所)			
○保護者評価実施期間	令和7年1月28日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	40
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育センターの児童発達支援事業所であることから、センターが持つ様々な専門職との連携を図り、総合的な専門施設として発達障害をもつお子さんと、そのご家族の地域生活を支えていく場となることを目指していく。	ソーシャルワーカーやDr、医師、心理、作業療法士、言語聴覚士の専門職種と連携を図り、お子さんへの支援や保護者への支援に取り組む。	引き続き、専門職種との連携を図り、お子さんへの支援や保護者への支援を充実させる。
2	保護者の方と一緒に療育に参加して頂く親子日を通じて、保護者がお子さんの行動特徴を理解し、お子さんに必要な支援や配慮を対応を学んでいただけるように、親子日の内容を充実させていきたい。	保護者とお子さんが楽しく参加できるプログラムを意図的に設定しています。保護者には、事前にプログラムのねらいを伝え、保護者がお子さんに対して意識的に、ポジティブな関わりやフィードバックができるように工夫している。	親子日のプログラムの有り方や意味を職員全体で改めて確認し、意識的にねらいをたてて展開していきたい。
3	学年齢・知的水準・タイプ等を考慮しつつ、総合的にクラス編成をしている。	お子さんの学年齢や理解や特性に合わせてわかりやすく過ごしやすい環境設定を心がけるとともに、活動内容にも工夫し、お子さんが「できた」「わかった」と実感できるようにしている。	苦手なことも楽しくできる工夫を行い、やってみたらできたと思うようにお子さん達のプログラムをブラッシュアップさせていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の繋がりや交流の機会の担保	クラス懇談会や園長懇談などを企画していたが、職員体制が整わないことで急遽中止になってしまうことがあった。	次年度は職員体制を整えて、計画とおり、実施できるようにする。
2	お子さんが通う保育所や幼稚園との連携の強化	園の先生が事業所でのお子さんの様子を見に来れる療育参観を実施したり、必要時に園訪問などでお子さんが通う園との連携を図っているが、ややタイムリーさに欠けている感はある。	園訪問については、必要時としているが、必要時としているからこそ、訪問スタッフを担任だけというのではなく、主任や園長も行くことにして、とにかくタイムリーに対応できるようにしていく。
3	大災害時の対応や緊急時の対策や対応	療育センターとは離れているため、災害時に備えて、年に2回の避難訓練だけでなく、その他の色々な緊急時を想定した訓練やそのマニュアル作成が必要だと考える。	今後、大地震などの災害に備えて、マニュアルを見直し、避難ルートの確認や備品なども定期的に確認し、備えていきたい。

事業所名	横浜市北部地域療育センター びーす中川 (児童発達支援事業所)
------	------------------------------------

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 48名

回収数 40名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	39	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	3	0	0	・毎回子どもが楽しめる工夫がされていた。 ・苦手な活動も楽しく活動できる工夫がされていた。 ・色々な体験ができた。	今後も子どもが「やってみたい」「これならできそう」と思えるような工夫や配慮をしながら行っていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	40	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	0	0	0	意見を保護者とすり合わせた上で適切に作成してもらえた。	引き続き保護者の方の意見とすり合わせをしながら支援内容を作成し、ご説明していきたいと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	3	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1	0	0	・毎回共有できた。 ・突発的な問題も丁寧に対応いただきました。 ・親よりも発達の状況を理解して細かい配慮がされていた。	引き続き毎回保護者の方にお声かけをし、子どもの健康や状態を共有しながら、必要な配慮を行っていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34	3	0	3	・毎回、子供たちが自由遊びをしている時間に担任の先生や皆さんとお話してき、他の保護者の話を聞いて、共感できて嬉しかった。 ・そうした場がもう少しあると良いと思う。	毎回、懇談の時間はとっているが、施設側からの連絡事項が多くなってしまったため、次年度は時間を別にとり、クラス懇談会や園長懇談を実施していきます。



	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	1	0	0	子どもそれぞれの特性に合わせた配慮がされていると感じた。	引き続き、お子さんそれぞれの特性に合わせた配慮を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	2	0	3	「クラスだより」がもらえて、事前に活動予定を知ること、親子共に楽しく参加できた。	紙面だけでなく、メール配信サービスも利用しながらお知らせを、タイムリーにお伝えできるようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	40	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	40	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	2	0	0	毎回とても楽しみにしていて本人としては、家の次に安心する場所らしいです。	引き続き子どもたちを楽しみにしてもらえよう活動や環境設定を心掛けていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	0	0	0	・親子ともに成長することができました。 ・子どもとしっかり向き合えたことで子どもの事を理解することができました。	引き続きご満足いただける支援を心掛けていきます。

事業所名	横浜市北部地域療育センター びーす中川（児童発達支援事業所）		公表日		令和7年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	「時間」や「空間」といった抽象的でわかりにくいことを視覚化し、子どもたちと共有できるように心掛けています。	常に「整理整頓」を心がけていますが、片付け忘れもあるため、気づいたらお互いに声をかけあい、片付け忘れがないようにします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別スペースが必要なお子さんがいた時にはパーティションを使い、お部屋の中で個別スペースをつくって対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	療育の始めの時期にS-M社会生活能力検査や感覚プロファイルをとり、その結果を保護者と共有し、支援計画に反映させています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		療育参観や情報交換は行っていますが、お子さんの支援を検討し合う機会を増やせたらと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	学校引継ぎは近年療育を見学に来られたり、VTRを見ながら行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	家庭や園でのお子さんの様子を踏まえてご相談に応じるため、毎回保護者に連絡帳をかいてきていただいています。	毎回、連絡帳を書くのが負担に思われる方もいらっしゃると思うので書けない時は、口頭報告で良いことを事前にお伝えします。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	保護者教室や家族講座など、特性のあるお子さんの子育てに必要な知識や情報を学べる講座を各種ご用意しています。		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	年度のはじめに、重要事項またはご利用のしおりにて一斉にご説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	毎週お会いする中でひとりひとりの方にお声をおかけし、ご相談に応じられるようにしている。また、必要時電話で相談も行っています。	

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎月の職員会議でクラスごとにインシデント報告をし、状況・改善策を確認しあい、共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市北部地域療育センター 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月25日		～ 令和7年3月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ソーシャルワーカー、保育士、心理士、理学療法士、作業療法士、言語療法士など、センターに所属するさまざまな職種が支援に関わることができる。	園で生活する上で必要な支援を具体的に提案できるよう、園の先生からのニーズを丁寧にききとっている。その情報を児に関わる支援者同士で共有し、それぞれの専門性を生かした提案ができるように心がけている。	保育所等訪問に携わるスタッフを増やしていけるかは今後もセンター内で検討が必要。
2	これまで実施してきた「関係機関技術援助」事業があったため、担当区内の各園と顔のみえる関係を作ってきている。	機関への支援である「技術援助」と、より個別性の高い「保育所等訪問支援」の目的の違いを園の先生と確認できるよう、開始時の説明を丁寧にしよう心がけた。	園によってさまざまな活動の内容があり、保育で大切にしている点も違いがある。園の保育方針を尊重しつつ、センターと園互いの専門性を生かした支援について意見交換できるよう、振り返りのミーティングや研修等を続けていきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	センターにおける利用申込の大幅増加により、職員の各業務も煩雑になってきており、今後、訪問の人数や園、訪問回数を増やすことが難しい状況にある。	どのスタッフもセンター内の業務と兼ねているため、訪問の時間や回数を増やすことが困難である。	書類作成や記録などの事務的な作業や園との調整連絡など、効率化が図れるところがないか見直していく。
2	利用者からの評価表回収率が低い。	外国語をコミュニケーションの主とする保護者には、現在ある評価表の利用は難しかった。	利用する保護者にとってわかりやすい評価表が必要である。回収の期間や方法を見直し、保護者からの回答の受け取りやすさを図る。

事業所名	横浜市北部地域療育センター 保育所等訪問支援
------	---------------------------

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 2名

回収数 0名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。						
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。						
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。						
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。						
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。						

非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。						
	28	事業所の支援に満足していますか。						

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

横浜市北部地域療育センター  
保育所等訪問支援

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 2名 回収数 2名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			療育センターでどのようなことをしているのか、園からセンターへ訪問する機会があるとよい。	園の先生方がセンターの訓練評価に同席できるような機会も今後検討します。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>園でできることを教えてもらい、しかも園の気持ちや思いもくみ取ってもらえたため話しやすかった。</li> <li>園でも取り入れやすいアドバイスをたくさんもらい、すぐに実践することができた。</li> </ul>					支援が必要なお子さんが地域集団でどのように過ごしているのか、センタースタッフも学びの多い事業でした。今後も園の先生とコミュニケーションをとり、一方的な支援にならないように心がけていきます。	



事業所名		横浜市北部地域療育センター 保育所等訪問支援		公表日	令和7年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1	園の保育で使用しているものについて、アド バイスしている。	どのような教具教材が必要か、今後検討して いく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	他の業務と兼務しているため、利用者数を増 やすことが難しい。	職員数を増やすことは難しいが、事務的な業 務を効率化することで改善を図りたい。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。		2	・評価表の回収が難しく、ご意見をいただく ことが難しかった。 ・評価表の文面がやや難しい。	・評価表の内容は見直しが必要。 ・保護者への配布日程も早めに締切までの期 間に余裕をもたせるようにしたい。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		2		外部評価については今後検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2			
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	1	関係するスタッフで認識を共有するよう心掛 けてはいるが、カンファレンスのような時間 がなかなかとれない。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。		2	支援計画を具体的にたてるようにはしてい るが、ガイドラインに必ずしもそっているとは 限らない。	ガイドラインについて確認していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	1	1		支援の初期だけでなく、中期、後期にも内容 を見直していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2	保護者同士のつながりについての支援はあまりしていない。	センターで実施する保護者むけの講座などについても積極的に案内していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	ホームページはあるが、SNS等の発信はしていない。	センター内で検討していく。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	1	外国語を母語とする保護者について、お渡しする文書は日本語のまま、対面で説明するようにした。	情報伝達の内容で不足がないよう、保護者の状況にあわせ今後も対応する。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			